

# 8 ソーシャルメディアは とても怖い!

軽々しく情報発信してはいけないけど、内輪の世界だし、個人名や企業名を出さなければ大丈夫!



自分の趣味や関心ごとなど私的な情報発信だけにします。

勤務先や取引先などの企業秘密、お客様の個人情報を発信・投稿することです。

やつて  
いいこと  
.....  
やつて  
悪いこと  
.....



THINKING &



ADVICE

## 問題の大多数は悪口・企業秘密・個人情報

大きな問題につながる投稿の多くは比較的若い人が発信しているようです。それは、自分が発信する投稿内容が社会的にどんな問題や影響を及ぼすの十分に理解していないからです。例えば、次のような内容の投稿は問題です。

### 〈公表すべきでない社内情報など〉

- ★社風が古臭く上下関係にもうるさいのにならざり。入社前のイメージと違いすぎ!
  - ★近いうちに発売するうちの最新製品、他社より性能3割アップ。ヒット間違いなし!
  - ★こんどは欧米に進出みたい。私も海外で活躍できる日が近いかな! など
- 〈お客様や取引先の評判や悪口など〉
- ★うちの担当者、いつもいびって上から目線、

態度がデカくて不愉快だよ

★平気で無理難題を押しつけてくるし、値引きを強要する客ばかり。毎日つんざり

★取引先と飲んだときわかったけど、イメージと真逆、あそこはブラック企業だよ など  
ソーシャルメディアの取り扱いについて、ある程度、明文化している会社はあると思います。しかし、すべてのことを取り上げて、あれはいけない、これはいけないと具体的に述べてはいけません。それはその必要がないからではなく、社会人なら「良心・良識をもって善悪の判断ができるはず」とみているからです。にもかかわらず、不平・不満のけ口として批判的なことを投稿したり、注目を集めたいからと企業秘密を公表したりすることは社会人として失格です。



また、投稿しても、顔も名前も会社名もわからないから大丈夫、とたかをくくってはいけません。どこの会社の誰かは、調べられればたいていわかってしまうものです。そして一度投稿されたものは削除してもネット上に情報として残ります。そうなる、困るのは自分だけではありません。勤務先やお客様・取引先も困らせることとなります。

### 会社の危機につながる

例えば、勤務先の批判・悪口を投稿したとしましょう。その内容は自分の予想した範囲をこえて広まってしまつことがあります。その結果、思いもよらない大問題、よく話題となる「炎上」に発展してしまつおそれがあります。

それだけではなく、会社の問題を世間にさらすようなことをすれば、当然、企業イメージは悪くなり、信用も低下します。すると対外的な

仕事がいやになり、多くの場合、売上げが急速に下がり始めます。そして、それが続くと業績が悪化し、会社の存続が左右される事態になりかねません。

もちろん、批判や悪口の対象がお客様や取引先であった場合も同様のことのできる可能性があります。そうなれば、個人のしたことでも、会社が責任を問われ、訴えられて損害賠償を負つことになることもあります。

また企業秘密を情報発信・投稿し、それをライバル会社を知ることになれば、自社の競争力が著しく低下します。さらに、方針の変更など多方面に混乱が生じて、ライバル会社に差をつけられることになるでしょう。その結果、売上げ低迷から業績悪化を招き、経営危機に陥ることもありえます。こうした問題に対応するためには、多大な時間と費用が必要となることを理解しておきましょう。

### CASE



ソーシャルメディアの怖さを知ったので情報発信や投稿を控えるようになりました。でも、友人やお客様に「ここだけの話」として話す程度ならいいでしょうか？ 彼らから会社や商品などを聞かれたとき黙っているのどうかと思えますし、不平・不満を話すことはストレスの解消にもなると思いますが……。

### ADVICE



「ここだけの話だから大丈夫だろう」と甘く考えてはいけません。また、いくら信用できる相手でも、話せば「必ず広まるもの」と思ってください。

聞いた人は「面白いから投稿してやろう」と思つかもしれませんし、「多くの人に知らせるべきだ」と思つかもしれません。そんなことはしないだろうと、軽々しい判断をするのはやめるべきです。

親しい人に聞かれたとき、知らないことは

### 雑学コラム

#### 詫びて済むわけではない

\*\*\*\*\*

問題のある投稿が拡散されれば、会社から厳しく叱られるのは当然ですが、それだけでは終わりません。会社は被害を受けたのですから、投稿した社員に厳しい罰を与えることもあります。解雇や、事と次第によっては個人に賠償請求をすることもあります。

ハッキリそう言っても、多少なりとも知っていることであれば、どう返事したらよいか困ることもあるでしょう。  
ストレートに「話せません」とは言いにくいようなときは、「そのへんのことにはよくわかりません」程度でほかすなどして、うまく切り抜けるようにしましょう。